

研究員の眼

新NISAからの買付にやや息切れ感も ～2024年3月の投信動向～

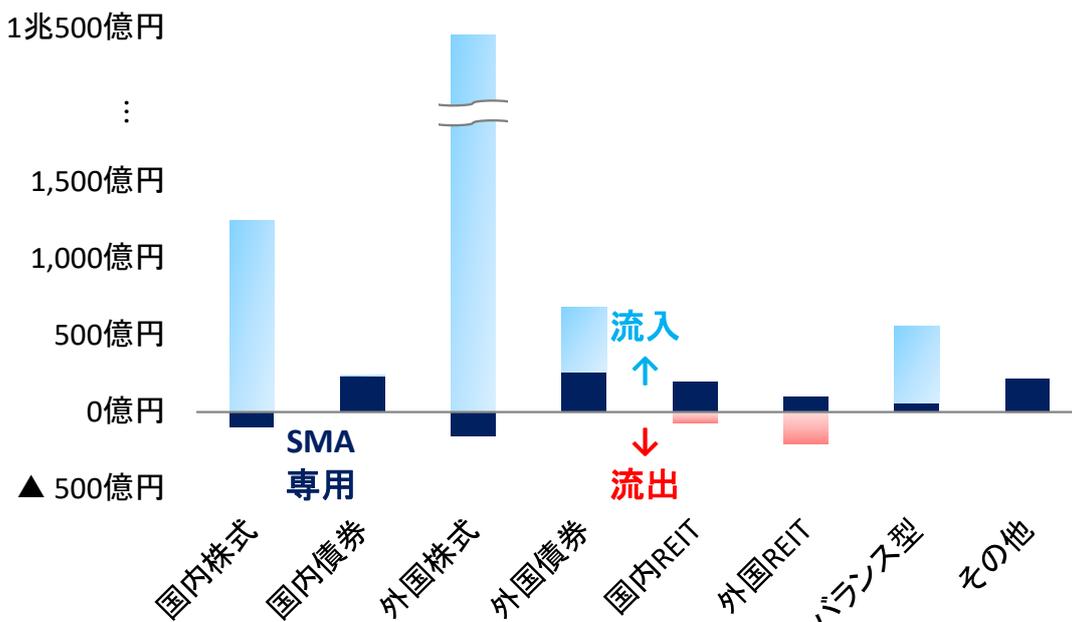
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

大規模な資金流入が続いているが

2024年3月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、3月はファンド全体に1兆3,200億円の資金流入があった。ファンドの販売自体は非常に好調だったといえるが、2月の1兆4,000億円からやや鈍化した。

3月も相変わらず投信販売の牽引役は外国株式ファンドであった。1カ月間で1兆300億円の資金流入があり3カ月連続の1兆円を超えたが、1月の1兆1,600億円、2月1兆1,400億円だったため、2024年に入って最小だった。

【図表1】2024年3月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

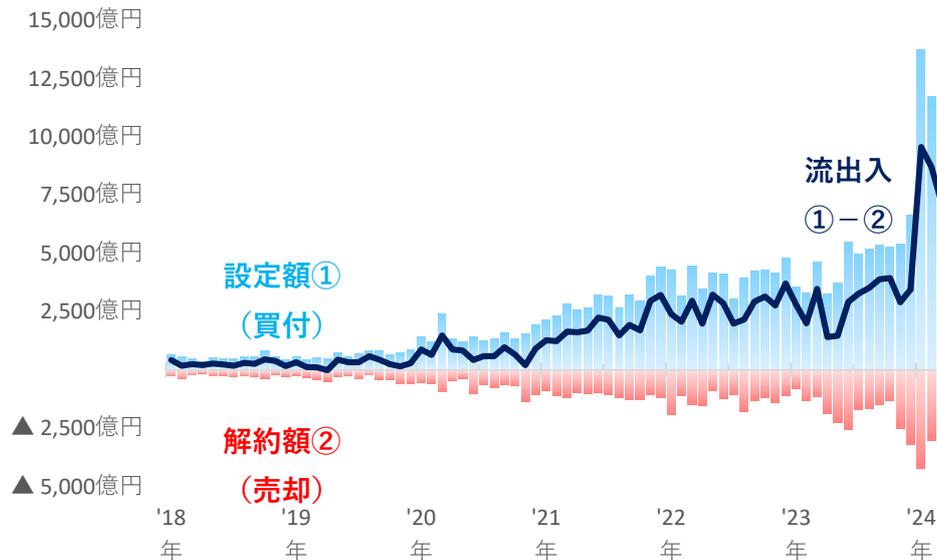
インデックス型の外国株式ファンド買いに息切れ感

新NISAのスタートに伴ってインデックス型の外国株式ファンドが売れに売れていたが、徐々に鈍化してきている。一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドへは1月に9,600億円の資金流入があったが、2月に8,700億円と800億円減少した【図表2】。さらに3月は7,100億円と2月から1,600億円も減少し、2月以上に鈍化した。

そもそも2月は「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」が1月に売れ過ぎた反動によるところが大きかった。「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」には2月も2,300億円の大規模な資金流入があったが、1月の3,400億円だったため1,100億円も減少した。このように2月はこの1本の減少額が一般販売されているインデックス型の外国株式ファンド全体の減少額800億円を上回っていた。3月も「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」には1,900億円の資金流入と2月からさらに減少したが、減少額は300億円程度とかなり落ち着いてきている。

3月は「eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)」に限らず、これまで売れ筋だった一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドへの資金流入が全体的に細った。実際に資金流入が250億円を超えているインデックス型の外国株式ファンドは1月が7本、2月が6本あったが3月は3本(【図表3】赤太字)しかなかったことからそのことがうかがえる。

【図表2】一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドの設定額と売却額



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2024年3月は流出入のみで、流出入も推計値。

【図表3】2024年3月の推計純流入ランキング

順位	ファンド名	運用会社	2月の流出入	3月の推計純流入	純資産3月末時点
1位	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	2,273 億円	1,927 億円	29,291 億円
2位	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	1,805 億円	1,554 億円	41,202 億円
3位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	638 億円	763 億円	26,591 億円
4位	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	インベスコアセット・マネジメント	508 億円	503 億円	12,820 億円
5位	インド小型厳選株式ファンド	アムディ・ジャパン	---	334 億円	338 億円
6位	半導体関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	458 億円	323 億円	2,064 億円
7位	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)	野村アセットマネジメント	311 億円	312 億円	2,780 億円
8位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	アライアンス・バーンスタイン	294 億円	297 億円	11,896 億円
9位	楽天・S&P500インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	386 億円	262 億円	1,307 億円
10位	日本好配当リバランスオープンII	SBI岡三アセットマネジメント	---	237 億円	244 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

背景には成長投資枠からの買付の減少か

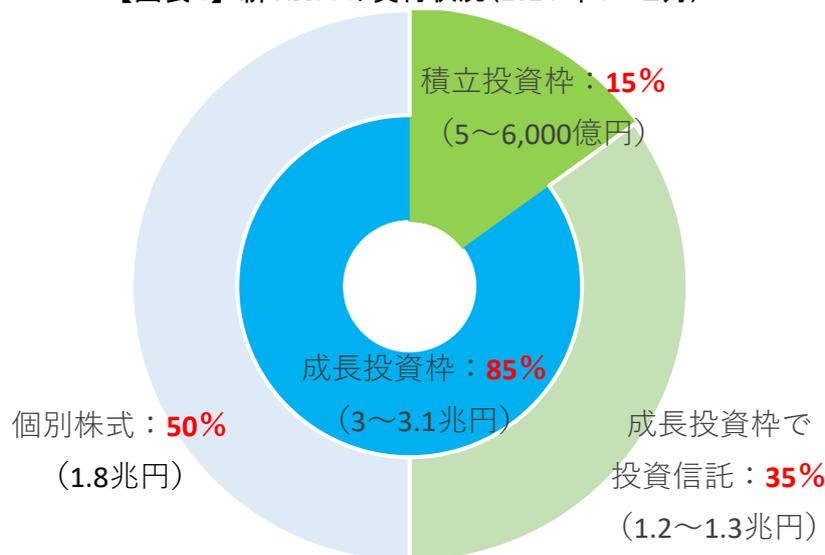
日本証券業協会が公表した1月から2月までの2カ月間の証券会社10社（大手5社、ネット5社）の新NISAの買付状況をみると、2カ月累計で3.5～3.6兆円の買付があったようだ。そのうち15%、金額にすると5,000～6,000億円が積立投資枠からであり、残りの85%、3～3.1兆円が成長投資枠からであった【図表4】。さらに成長投資枠では個別株式の買付が1.8兆円で、残りの1.2～1.3兆円が投資信託への買付であった。

このように1月、2月の証券会社10社（大手5社、ネット5社）の新NISAの買付は個別株式と投資信託がちょうど半分であった。さらに投資信託は7割が成長投資枠、3割が積立投資枠からと成長投資枠からの買付の方が多かった。あくまでも詳細の情報は公表されていないが、積立投資枠は無論のこと成長投資枠でもインデックス型の外国株式ファンドへの買付が中心であったと推察される。そのため1月9,600億円、2月8,600億円のインデックス型の外国株式ファンドへの買付の大半が成長投資枠からであったと考えられる。

成長投資枠は積立投資枠と異なり使い方が自由であり、既に1月、2月に年間240万円の枠を使い切ってしまった人もいると思われる。3月のインデックス型の外国株式ファンドへの資金流入がやや息切れしてきた背景にはそういったこともありそうである。実は昨2023年11月以降、インデックス型の外国株式ファンドの売却（【図表2】赤棒グラフ）も急増している。実際に2023年11月、12月の2カ月間で売却額が6,000億円近くあった。新NISAが始まる前に一旦、売却しておいて1月、2月に成長投資枠で一気に課税口座から新NISA口座に買い替えた人が意外と多かったかもしれない。

いずれにしても一般販売されているインデックス型の外国株式ファンドには3月でも流入額が7,100億円あった。2023年以前だと最大でも2023年10月の4,000億円であったことを踏まえると、2023年以前と比べると非常に売れている状況となっている。今後も当面は流入減少が続くかもしれないが、いつ頃そしてどれくらいの金額で落ち着くのか新NISAの利用状況と合わせて注目される。

【図表4】新NISAの買付状況(2024年1～2月)



(資料) 日本証券業協会資料より作成。証券10社の概算値。個別株式にはETF、REITを含む。

実はその他のファンドが売れてきている

その一方で外国株式ファンドでもアクティブ型には一般販売されているものに3,300億円の資金流入があり、2月の2,800億円より増加した。外国債券ファンドも一般販売されているものに400億円の資金流入があり、流入額こそ小さいが2月から倍以上に増加した。アクティブ型の外国株式ファンド、外国債券ファンドとも新設ファンドが売れたこともあり、3月も販売が堅調だった様子である。また、国内REITファンドは一般販売されているものの売却が鈍化したこともあり、2023年8月以来、7カ月ぶりに純流入に転じた。その他の国内株式ファンド、バランス型ファンド、外国REITファンドは増加こそしていなかったが、一般販売されているものについては流出入が2月とほぼ同規模であった。

このように新NISAの影響が特に大きいと思われるインデックス型の外国株式ファンドへの資金流入が1月をピークにやや鈍化する一方で、実はその他のファンドの販売は堅調で資金流入が増加してきている。実際に一般販売されているインデックス型の外国株式以外のファンドへの流入額は1月に2,600億円しかなかったが、2月は4,200億円に、さらに3月は5,200億円まで増えた。4月以降も増加基調が続くのか、インデックス型の外国株式ファンドだけでなく投信市場全体の今後の販売動向も注目である。

金関連ファンドが好パフォーマンス

3月は金価格が大きく上昇したためその恩恵を受けた金関連ファンド（赤太字）が総じて高パフォーマンスだった【図表5】。

【図表5】2024年3月の高パフォーマンス・ランキング

	ファンド名	運用会社	3月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 3月末時点
1位	ブラックロック・ゴールド・メタル・オープンBコース	ブラックロック・ジャパン	23.6%	9.7%	41億円
2位	ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック・ジャパン	23.3%	9.6%	157億円
3位	ブラックロック・ゴールド・メタル・オープンAコース	ブラックロック・ジャパン	22.3%	-8.0%	87億円
4位	三菱UFJ 純金ファンド	三菱UFJアセットマネジメント	12.8%	29.6%	1902億円
5位	Tracers S&P500ゴールドプラス	日興アセットマネジメント	12.7%	55.0%	27億円
6位	オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	三菱UFJアセットマネジメント	12.7%	48.6%	25億円
7位	ブラックロック天然資源株ファンド	ブラックロック・ジャパン	12.3%	17.6%	66億円
8位	DIAMオーストラリアリートオープン	アセットマネジメントOne	11.9%	44.6%	146億円
9位	三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型>(3ヵ月決算型)	三菱UFJアセットマネジメント	11.8%	49.5%	10億円
10位	資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	日興アセットマネジメント	11.4%	16.4%	27億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2024年3月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。